《セッション構成案》

■内科・外科シンポジウム５
FFR を血行再建へ活かす（90 分）

論点：FFR を血行再建にいかに生かすべきであろうか。虚血ガイドで実施された FAMEII では OMT に対する PCI の優越性が示されたが、FAME IIIでは CABG に対する PCI の非劣勢は検証されなかった。staged PCI が容易な PCI と困難な外科では立場が異なることも想定される。一方、グラフトの開存率に FFR が有益という臨床研究もある。実臨床でどう活用すべきか？理想と現実について議論したい

座長：内科 東京医大 田中信大 先生 外科 東京女子医大 新浪 博 先生

内科の立場から
１． FFR の概念、その中心的なエビデンス
東京医大 田中信大 先生（発表 15 分＋質疑 3 分）
２．冠血流予備量比 FFR が多枝冠動脈疾患治療に活かされるためのシナリオ
獨協医大 阿部七郎 先生（発表 15 分＋質疑 3 分）

外科の立場から
１． 冠動脈バイパス術施行症例において FFR の結果は治療方針に大きな影響を与える
金沢大学 竹村博文 先生（発表 15 分＋質疑 3 分）

２．外科医における FFR の意義
藤田医科大 髙味良行 先生（発表 15 分＋質疑 3 分）

総合討論 15 分間